

日本工学会 技術倫理協議会 第10回公開シンポジウム
研究倫理への対処と倫理教育のあり方を考える

日時：平成26年11月4日（火）10:00～17:00（9:30より受付開始）

会場：建築会館ホール 〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20 TEL 03-3456-2051（代）

開催趣旨：近年我が国において捏造・剽窃などの問題事案は確実に増加しており、研究者倫理教育の徹底が望まれています。研究倫理は研究者自体の側面と組織的・構造的な側面の両面について検討する必要があります。倫理教育は、研究指導の重要な部分として日常的に行われるべきものですが、組織的にどう担保するかが問われています。本シンポジウムでは、研究倫理への対処と倫理教育の在り方、学協会が果たすべき役割と今なすべきことについて幅広く議論します。

主催：公益社団法人日本工学会 技術倫理協議会

【協議会会員】安全工学会、電気学会、電子情報通信学会、土木学会、日本化学会、日本機械学会、日本技術士会、日本原子力学会、日本建築学会、日本工学アカデミー、日本工学教育協会、日本非破壊検査協会、日本マリンエンジニアリング学会

会場アクセス：JR 田町駅、都営地下鉄三田駅（浅草線・三田線）徒歩3分

（地図は<http://www.aij.or.jp/jpn/guide/map.htm>をご参照ください。）

交流会：シンポジウム終了後、交流会を開催します。事前登録制ですので参加申込書の「交流会に参加する」欄にチェックを入れてください。

参加費：シンポジウム資料代：1,000円。交流会（希望者のみ、事前予約制）：3,000円。
いずれも当日会場受付において申し受けます。

参加申込方法：別紙の『参加申込書』（http://www.jfes.or.jp/_cet/topic/topic_no022.html）に記入後、電子メールまたはFAXにて、日本工学会事務局（eng@jfes.or.jp、FAX (03)6265-0673）にお送りください。

問合せ先：公益社団法人日本工学会事務局

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-2-2 東京理科大学森戸記念館3階

E-mail:eng@jfes.or.jp、Tel:03-6265-0672、Fax:03-6265-0673

URL:<http://www.jfes.or.jp/>

***** プログラム *****

総合司会：檜山 爲次郎副議長

1. 議長挨拶（10:00～10:10）三木 哲也議長
2. 基調講演Ⅰ（10:10～11:10）「誠実な科学研究に向けて」
渡邊 淳平氏（日本学術振興会理事）
3. 講演1（11:10～11:50）「義務化へと向かう技術者・研究者の社会的信頼の向上に向けた倫理教育」
市川 家國氏（CITI Japanプロジェクト副事業統括、信州大学特任教授）
5. 講演2（11:50～12:30）「研究不正への対応を超えて：責任ある研究活動の確立」
中村 征樹氏（大阪大学准教授）
（昼食休憩 12:30～13:20）
6. 講演3（13:20～14:00）「技術者倫理教育における学習・教育目標について」
～日本工学教育協会技術者倫理調査研究委員会調査研究プロジェクトでの取り組み状況～
札野 順氏（金沢工業大学教授）
4. 基調講演Ⅱ（14:00～15:00）「研究倫理に関する構造的課題への対応について」
白井 克彦氏（放送大学学園理事長、前早稲田大学総長）
（休憩 15:00～15:20）
7. パネルディスカッション（15:20～17:00）
テーマ：研究倫理への対処と倫理教育のあり方を考える
パネラー：渡邊 淳平氏、白井 克彦氏、市川 家國氏、中村 征樹氏
司会者：札野 順氏
8. 交流会 17:15～18:45